

〈公民館図書室の部〉

「あすなろ図書室と子どもたち」

長沼町公民館図書室 司書 柳 沼 きみ子

〈利用者の部〉

「須賀川市読み聞かせの会ポケットのあゆみ」

須賀川市読み聞かせの会ポケット

前会長 高 倉 チ ヨ

・分科会

〈図書館部会〉

司会者 郡山市中央図書館

館長 田 村 一

助言者 福島県教育庁生涯学習課

社会教育主事 鎌 倉 雅 臣

〈公民館図書室部会〉

司会者 古殿町公民館 館長 我 妻 啓 吉

助言者 県中教育事務所

社会教育主事 仲 村 匡

〈児童部会〉

司会者 須賀川市読み聞かせの会ポケット

会長 渡 邊 知 江

助言者 元常葉町公民館長 山 上 俊 朗

(2) 読書活動指導者養成講座

・テーマ “ブックトーク入門

行ってみようよ本の世界へ”

・期 日 平成10年11月26日

・会 場 福島県立図書館

・参加者 図書館、公民館職員／教育関係者／子ども文庫
関係者／子どもの本関係者 148名

・講 師 北畑 博子

6 広報資料の発行

(1) 館報「あづま」

第49巻第1号～第2号（通巻246～247号）を発行し、市町村教育委員会、図書館、公民館等に配布した。

発行部数 各1,500部

(2) 平成10年度福島県公共図書館・公民館図書室

実態調査報告書

県内公共図書館・公民館図書室の実態を把握し、図書館活動の振興に資するため、昭和54年度から毎年実施し、報告書にまとめ、県内市町村教育委員会、図書館、公民館等に配布した。

発行部数 350部

平成10年4月1日現在の主要な結果をあげると、市町村図書館と公民館図書室を合わせた蔵書冊数は、4,105,193冊で、県民1人当たり1.93冊（前年度1.84冊）、年間増加冊数は、182,824冊である。

また、平成9年度中の貸出図書冊数は、4,863,743冊（県民1人当たり2.28冊）であり、前年度と比べると総冊数では、88,972冊の増である。

(3) 福島県郷土資料情報

新着郷土資料の速報誌として、第35号～36号を発行し、県内の図書館、公民館等に配布した。

発行部数 各300部

第5節 図書館協力

1 相互協力

県内公共図書館の資料・調査・協力のためのセンターとして、また多様化・高度化する利用者要求に応えるため、県内外の各種機関との連携・協力関係の促進を図った。特にその中核となる資料の相互貸借には意を注ぎ、条件整備と関係の緊密化に努めた。

[表10] 相互貸借件数

区分	県内		県外	計
	件数	冊数	冊数	
貸出	1,064	2,547	132	1,127
	33	76	55	81
借用	1,097	2,623	187	1,208
	33	76	55	131
計	1,097	2,623	187	1,208
	33	76	55	131

2 県内図書館職員研修会

図書館職員の資質向上と専門的知識の涵養を図るため、毎年行っている。

・テーマ 図書館における統計と評価

・期 日 平成11年2月5日

・会 場 福島県立図書館

・参加者 図書館／公民館／関係機関職員 55名

・講 師 田無市立中央図書館 中川 恭一

3 図書館協力事業連絡会議

全県的な図書館のサービス網の充実を図ることを目的として、県内公共図書館間の協力体制のあり方や今後の図書館業務の方向について協議した。

・議 題 福島県立図書館情報ネットワーク事業について

相互貸借について

・期 日 平成10年7月10日

・会 場 福島県立図書館

・参加者 図書館／関係機関 25館

4 県内大学図書館間相互利用制度

県内の大学図書館と公共図書館との協力的体制として「福島県内大学図書館間相互利用制度」があり、その制度の主な柱は、「図書館資料の相互貸借」「複写」「参考業務」及び「一般社会人への共通利用証発行」である。

この制度利用参加市町村立図書館は、県立図書館を含め福島市立図書館、二本松市立図書館、郡山市立中央図書館、須賀川市立図書館、白河市立図書館、会津若松市立会津図書館、喜多方市立図書館、相馬市立図書館、原町市立原町図書館、いわき市立中央図書館、船引町立図書館、小野町ふるさと文化の館、三春町民図書館、矢吹町立図書館、双葉町立図書館、大熊町立図書館の17館である。